



号外
埼玉県(第1区版)
2009年6月8日発行

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL 03-3595-9988(代表)

民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
Tel 048-833-3500
Fax 048-833-3503
URL <http://minshu.org>
E-mail info@minshu.org

2009年・夏号

民主党埼玉県第1区総支部
衆議院議員 たけまさ公一事務所
浦和事務所
さいたま市浦和区北浦和 3-6-11
松本ビル 2F
TEL048-832-3810 FAX048-832-3846
岩槻事務所
さいたま市岩槻区本町 5-5-12
TEL048-749-6801 FAX048-749-6802
国会事務所
東京都千代田区永田町 2-1-2
衆議院第2議員会館 312号室
TEL03-3508-7062 FAX03-3519-7715

「政権交代」はあくまで手段！ 目的は「日本の国のたて直し」！



問題だらけの平成二十一年度補正予算！
平成二十一年度補正予算が、五月十三日与党の強行採決で衆議院を通過いたしました。
十五兆円規模の補正予算は、その財源の十兆円以上を国債発行に頼っていて、これにより戦後初めて国債発行額が税収を上回る事となります(左図)。

民主党の政策

「家計支援」5つの具体策	「セーフティネット」5つの具体策
1 子ども1人に毎年31.2万円の子ども手当を中学卒業まで支給。	1 全ての労働者に雇用保険を適用して生活を安定させます。
2 高校の授業料を実質無料化して教育費の負担を軽くします。	2 職業訓練の期間中、月10万円の生活手当を支給します。
3 年金への課税を見直して「年金減税」を実施します。	3 医師、看護師などの不足を解消し、信頼できる医療を確立します。
4 高速道路を原則無料化し、ガソリン・軽油を減税します。	4 介護に従事する人の賃金を引き上げて人材を確保します。
5 中小企業の法人税率を11%に下げて経営を支援します。	5 学校、病院などの耐震化を加速して安全なものにします。

また、新たに創設された三十の「基金」を含めた四百億円が投入されました。使うあてがないので「基金」に積んでおこうということなんです。
歳入を上回る国債を発行した上に、その借金を二年后には消費税の引き上げ

ます。
その財源は、次ページで紹介する「公会計関連三法案」にあるように、政府関係の現金・預金、約六十六兆円(平成十八年度)を有効活用(キャッシュ・フロー・マネジメント)することで捻出します。

で穴埋めするようなことを許すことはできません。
民主党の経済対策
民主党は二年間で二十一兆円の緊急経済対策案をまとめました。
こども手当や暫定税率廃止で可処分所得を増やし、年金・医療・介護の抜本的な拡充で将来の安心感を高め

公会計関連二法案を提出!

五月十四日、民主党は公会計関連三法案として、以下のように「会計検査院法改正案」「予責法改正案」「公会計法案」を参議院に提出いたしました。

埼玉県第1区総支部長・武正公一が会長を務める決算・行政監視調査会がまとめ、昨年十二月に公会計、公契約のあり方について「次の内閣」閣議で了承された中間報告からまとめた第一弾です。

「会計検査院法改正案」は、予算執行のお目付け役である会計検査院の機能を強化するものです。

「予責法改正案」は、予算執行職員の責任の強化により、不正経理へのけん制を図るものです。

「公会計法案」は、国の

財政に関する政府の国民への説明責任の十分な履行を確保し、適正な予算編成・効率的な行政を推進するためのものです。

この法案は、三月になると道路工事が増える「予算消化」や、国から地方への補助金の使いきりなどの「無駄遣い」を根絶するためのもので、衆議院選挙のマニラエスト(政権公約)で問われる財源捻出の強力な「道具」となるものです。

前ページにあるような野放図の借金を政府・与党が重ねる理由は、どこにどれだけのお金が眠っているか、遊んでいるかがわかっていないからです。

「政権交代」により、国民の皆様からお預かりしている税金の使い方を効率的なものへ大胆に見直します。

埼玉県第1区 (岩槻区・浦和区・緑区・見沼区) 選出地方議員の紹介

衆議院議員たけまさ公一プロフィール

たけまさ公一ホームページ <http://www.takemasa.org>

県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業

松下政経塾(第5期生) 埼玉県議会議員2期

衆議院議員3期

(外務委員会理事、海賊対処・テロ防止特別委)

民主党次の内閣外務副(大臣)担当

民主党決算・行政監視調査会長

党埼玉県連 幹事長



浅野目 義英(県議・浦和区)

昭和33年5月生まれ

07年県議会議員当選

山形県米沢市育ち。4才の時埼玉県へ。

法政大学社会学部卒。小学校教師を経る

隣接の上尾市で市議4期(25才~41才)

37才で議長。浦和区大東在中

家族は妻・一男一女

神崎 功(市議・緑区)

昭和30年12月生まれ

07年4月さいたま市議会議員選挙 3期目当選

民主党さいたま市議会議員団 団長

民主党埼玉県連 副代表

連合埼玉推薦議員連合埼玉推薦議員団 副代表

見沼ホテル保存会 世話人

尾間木スポーツ連盟 顧問

高野 秀樹(市議・岩槻区)

昭和35年9月生まれ

早稲田大学第二文学部卒業

卒業後経済専門誌などに執筆。

「サンデー毎日」記者

「サンデープロジェクト」ディレクターを経て02年2

月岩槻市議会補欠選挙で初当選。2期



原田 健太(市議・浦和区)

昭和42年3月静岡県清水市生まれ

浦和と同じサッカーの町、清水でサッカー少年として育つ

昭和60年 私立桐朋高校卒業

平成3年 東京大学法学部卒業

平成3年 丸紅株式会社入社

07年4月さいたま市議会議員選挙 2期目当選



三神 尊志(市議・見沼区)

昭和55年12月生まれ

片柳幼稚園卒 さいたま市立芝川小学校卒

さいたま市立第二中学校卒 埼玉県立浦和高校卒

東京都立大学法学部卒 (株)日立製作所 退社

07年4月さいたま市議会議員選挙当選

